

湯川だより



第 21 号 2015/6/25
発行：御代田町 町民課
【佐久市・北佐久郡環境施設組合】

～安定したごみ処理の実現と新クリーンセンター整備に向けて～

「環境影響評価書」公告・縦覧が終了



▲環境影響評価書の縦覧の様子

長野県環境部では、4月27日から5月26日までの1ヶ月間、「新クリーンセンター建設に係る環境影響評価書」の公告・縦覧を御代田町役場、森泉山財産組合事務所等において行いました。

平成23年度から地域住民の皆さまのご理解をいただき実施しました環境影響評価は、評価書の公告・縦覧を終え、一定の手続が完了しました。長期間にわたり、関係する皆さまからいただきましたご理解、ご協力に感謝を申し上げます。

今後、評価書に記載された施設の建設および稼働による周辺環境への影響を最小限に止めるための環境保全措置を適確に実施するとともに、工事中、稼働後における事後調査を実施し、その結果を公表してまいります。

平成 27 年佐久市・北佐久郡環境施設組合議会第 1 回臨時会

5月26日、佐久市・北佐久郡環境施設組合議会の第1回臨時会が開会しました。第1回臨時会では、予算案1件、人事案1件が議案として上程され、原案どおり可決いたしました。また、組合組織市町である佐久市、軽井沢町、立科町の議会構成が改選されたことを受け、新たに組合議会議員が選出されました。

◆ 佐久市・北佐久郡環境施設組合議会 議員名簿(平成 27 年 5 月 26 日～)

選出議会	氏名	役職	選出議会	氏名	役職
佐久市	市川 稔宣		軽井沢町	川島 さゆり	
佐久市	井出 節夫		軽井沢町	佐藤 敏明	
佐久市	江本 信彦		軽井沢町	柳澤 信介	
佐久市	大井 岳夫		軽井沢町	横須賀 桃子	
佐久市	菊原 初男	議 長	立科町	今井 清	
佐久市	高橋 良衛		立科町	森本 信明	
佐久市	竹花 美幸		御代田町	古越 弘	副議長
佐久市	吉岡 徹		御代田町	茂木 勲	

(※選出議会別・五十音順・敬称略)

新クリーンセンター環境影響評価書説明会が開催

佐久市・北佐久郡環境施設組合では、環境影響評価書の公告・縦覧が終了したことを受け、豊昇区および面替区において、評価書の概要について説明会を開催しました。

また、児玉区、広戸区、向原区、草越区にも、より一層、環境影響評価に関するご理解を深めていただくため、評価書の概要版を回覧しました。なお、概要版は、組合のホームページに掲載されておりますので、ご覧いただくことができます。



▲環境影響評価書説明会(6月12日 豊昇区)



▲環境影響評価書説明会(6月14日 面替区)

6月12日に開催された豊昇区の説明会には、8名の区民の皆さまが参加し、6月14日に開催された面替区の説明会には、28名の区民の皆さまが参加されました。説明会における、区民の皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します。

- 施設の生活排水は、合併処理浄化槽で処理後、湯川へ放流するとあるが、水生生物へ影響が無いよう徹底した浄化槽の維持管理と適切な処理をお願いしたい。
- 廃プラスチックも焼却処理するということが、十分な排ガス対策を講じていただきたい。
- パッカー車や施設からの悪臭が漏洩しないよう、十分な対策を講じていただきたい。
- 工事中および施設稼働後における、事後調査や自主的なモニタリング調査等を継続して実施していただき、適切な公表に努めていただきたい。
- 環境影響が低減されるよう、性能の良い施設を造ってほしい。
- 組合において、今後も町および区の意見をよく聞いて事業を進めてほしい。

御代田町都市計画審議会が開催されました

5月12日、役場大会議室を会場に平成27年度第2回御代田町都市計画審議会が開催され、「佐久都市計画ごみ焼却場の決定」他2件について審議が行われました。

都市計画審議会は、佐久市(5月8日)、軽井沢町(5月18日)においても開催され、ごみ焼却場についての審議が行われました。

各審議会における、ごみ焼却場の決定については、原案どおり承認を得ました。

また、これに伴い5月19日付で長野県知事からの同意も受けました。町では、7月8日に都市計画決定の告示を予定しています。

希少植物の移植作業を実施

佐久市・北佐久郡環境施設組合では、建設地内で確認された希少種のうち、造成工事により直接影響が予測されるヤエガワカンバ(カバノキ科)とオニヒョウタンボク(スイカズラ科)を、環境保全措置として建設地内の影響が及ばない場所に移植しました。

ヤエガワカンバは、樹高が約13mあり、根巻による土の重量を合わせると、約6tの重量にもなり、移植作業に2日間を要しました。

ヤエガワカンバの移植は、事例も少なく心配された作業でしたが、移植後、葉の展葉も確認され、生育状況も良好です。

組合では、動植物の識見を有する専門コンサルタントに委託し、引き続きヤエガワカンバとオニヒョウタンボクの生育管理に努めてまいります。

ヤエガワカンバ

和名：ヤエガワカンバ (別名：コオノオレ)

学名：*Betula davurica*

科名：カバノキ科

属名：カバノキ属

日当たりの良い山地に生え、高さ 20m くらいになる。樹皮は灰褐色または灰白色で厚く、細かく著しくはがれる。葉の脚は広くさび形となる。材が硬いことからコオノオレとも呼ばれる。花期は 4～5 月。

県内では東信地方を中心に分布し、低山帯の向陽地に生育する。

国内では北海道(十勝・日高地方)と本州(長野県東部、山梨県北部、群馬県)に隔離分布する。近隣では、佐久市望月地区で多くの個体を確認することができる。



▲ヤエガワカンバ移植後の状況

オニヒョウタンボク

和名：オニヒョウタンボク

学名：*Lonicera vidalii*

科名：スイカズラ科

属名：スイカズラ属

深山に生え、高さ 3m になる。枝は灰色。樹皮は縦に不規則に裂ける。葉は対生し、長さ 5～10cm の卵形または長楕円形で、ふちは全縁。両面にややかたい毛があり、腺点がまばらにある。5 月、本年枝の葉腋に淡黄色の花が 2 個ずつつく。花冠は長さ約 1.5cm で、基部は片側がふくれ、上部は 2 つに裂ける。液果は直径約 8mm の球形で 2 個が合着し、7 月に赤く熟す。

県内では東信地方の山地に分布し、国内では本州(群馬、長野、広島、島根各県)に分布する。



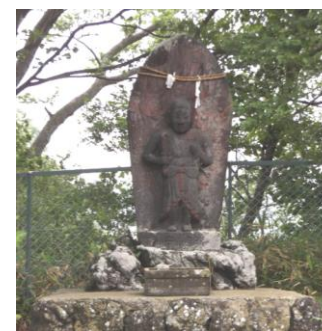
▲オニヒョウタンボク移植後の状況

ちよっとそこまで♪

面替の日影通りを歩く



大和朝廷の時代には、現在の下伊那郡阿智村にある神坂峠から伊那谷を北上し、蓼科山麓から雨境峠を経て佐久平、発地、入山峠へと至る「古東山道」が存在したとされていますが、日影通りがこの古東山道の一部であったとも読み取れる文献もあり、千年以上前の遠い昔から続く、歴史の足音が聞こえてくるような思いに浸りながら、豊昇方面へと歩みを進めていくと、大星神社の境内に隣接して、クラインガルテンの交流館が姿を見せます。



日影通りは、地形的に日影が多く、冬季は雪解けが遅いなど、とりわけ面替と梨沢(豊昇区)の間は、すぐ下に湯川(突切峡)が顔をのぞかせる崖道となっていて、危険な箇所も多かったと云います。

主に上州(群馬)への輸送路として賑わいを見せた街道。多くの人々が行き交い、多くの参拝者を迎えたであろう大星神社は、変わらず区内の小高い丘の上に凜とたたずみ、厳しい道中を乗り越えられるよう人々を見守っていたお不動さんは、今もなお通り沿いから人々を見守り続けています。(ゆ)



▲クラインガルテンの交流館と大星神社境内広場

編集後記

初夏を告げる心地よい風と新緑に晴々した気持ちで過ごしていると、今年の梅雨は、台風が来たかと思うような激しい雷雨から始まりましたね。噴火警戒レベル 2 への引上げからわずか 5 日後の 6 月 16 日、その後 6 月 19 日に浅間山が小規模噴火し、大事には至りませんでした。大きく報じられました。自然災害は技術進歩と継続的なモニタリングにより予測できるものもあれば、依然、不確実性が高いものもあります。新クリーンセンターにおいては防災面に配慮し、災害時に地域の防災拠点として貢献できるような施設整備に取り組んでまいります。

【発行】 御代田町役場 町民課 環境衛生係
御代田町大字御代田 2464 番地 2 電話：0267-32-3111 (内線 47)

【組合問合せ先】 佐久市・北佐久郡環境施設組合
佐久市中込 3056 番地(佐久市役所内) 電話：0267-62-2916



御代田町観光キャラクター
みよたん